

2011年度受託研究概要報告

メディテラスでのVMD開発

研究メンバー

瀬能徹	ファッションデザイン学科准教授
久富敏明	デザイン教育研究センター准教授
見明暢	プロダクトデザイン学科助教
田頭章徳	プロダクトデザイン学科助教
森下千春	ファッションデザイン学科実習助手

委託者

株式会社 ワールド

研究概要

メディテラスにおいて、時代性や世代のニーズを新しい視点で捉え、集客力向上を目的としたビジュアルプレゼンテーション、並びにビジュアルマーチャンダイジングを計画・実施する。

現在、三宮元町間での集客を考えたとき、ファッション関連の店舗は競合他社を含め競争が激化している。昨年に引き続き2度目のプロジェクトであるが、一層の集客力アップと持続性を目指し、神戸元町間の人の導線に於いても訴えかける手段を考える。ワールドの商品開発のシーズンテーマ「ブルジョアガール」のストーリーについてレクチャーを受け、商品とのイメージ連動も考慮する。

また、本年度は東日本大震災の影響もあり、ワールドに於いては「アートルームプロジェクト」で復興をテーマとしたプロジェクトも前向きに進めてきた中、神戸で展開する際にはルミナリエとのスケールメリットも含め、イルミネーションの計画も実施することになった。

研究成果

株式会社ワールドのファッションライフスタイルストア「メディテラス」に於いて、時代性や世代のニーズを新しい視点で捉え、集客力向上を目的とし、VMDを計画した。本年度は、プランニングにも重点をおき、本学内で参加学生各々による、個別プレゼンテーションを行った。ワールドのディレクターメンバーも参加され、現場に近い臨場感でのプレゼンテーションは貴重な体験となった。後半は採用プランに沿って、再度制作チームを結成し、現場に臨んだ。

本年度のテーマは、「Bright Light Twinkle Shine Happy Angel」という長いタイトル。ワールドのアートルームプロジェクトに合わせ輝く全てのもので世界を明るく照らしたいとの思いでこのようなタイトルとなった。去年は、館内だけの演出となったが、今年度はルミナリエとも連動し、外観のイルミネーション計画も実施した。同時にここを観光に向けた撮影スポットとして展開した。撮影をきっかけに店内に導入する客層も増し、成果は上がった。天使をモチーフに、館内のイメージを統一しボリュームのあるディスプレイが実施できた。



写真1 ポスター



写真2 メディテラス設営風景